

生産地から消費地まで。物流センターを拠点に集荷から配送までトータルに管理し、多様化、高度化する物流ニーズに対応。

株式会社 エルス (鹿児島谷山支部)



代表取締役 通山 顕治さん

株式会社 エルス

本社/鹿児島市七ツ島一丁目3-25
代表取締役社長/通山顕治
従業員数/140名
保有車両/特殊車74台



めざすのは、顧客の求める物流サービスを常に提供できる総合物流企業。地球環境への負荷軽減、安全面の管理体制など社会的責任への先進的な取り組みも。



「環境の変化に対応すべく、過去の範例と決別して改革に躊躇せず、如何なる時も顧客の求める物流サービスを提供できる総合物流会社を構築しよう」という社是のとおり、株式会社エルス〔ELS〕はいま、時代のニーズに応じて大きな変革の時機を迎えている。

昭和40年の創業以来、いちき串木野市を拠点に冷凍・チルド品の幹線輸送、小口配送を事業の柱としてきた旧通山運送は、今春より社名を「株式会社エルス」と変更。本社を鹿児島市七ツ島に移転、同時に冷蔵冷凍倉庫を備えた物流センターの設置、稼働を始めた。来年2月には福岡物流センターの開設も予定している。新社名のエルスは「Effective Logistics Solution (効果的な物流の解決策)」の頭文字。これまで冷凍・チルド輸送の

エキスパートとして培ったノウハウを元に、九州南北の物流センターを連携させることで、生産地から消費地まで、商品と情報を総合的に管理する事業を目指している。

顧客ニーズに応える事業展開と並行して、社会的責任（CSR）を視野に入れた取り組みにもいち早く着手。CO₂削減等の環境対策に取り組んでいる。ドライバー一人ひとりがアイドリングストップや急発進・急加速削減を心がけることはもちろん、トラックの位置やスピード、燃費などリアルタイムで確認、記録できる動態管理システムを車両に搭載、効率的な運行管理に成果を上げている。また大型トレーラー&フェリーを組み合わせたモーダルシフトを採用することで、効率的な物流システムを実現。さらに今回新設した物流セ

ンターの冷凍・冷蔵倉庫には、環境負荷の大きいフロン冷媒を使用せず、万一の庫内ガス漏れ事故時にも安全性が高く、オゾン破壊&地球温暖化係数ゼロという自然冷媒アンモニアを採用した。

さらに物流企業の社会的責務の大きな柱の一つに安全運転という課題があるとして、同社では今年1月、画期的なテレビ電話アルコールチェックシステムを導入した。携帯テレビ電話に取り付けたマウスピースに息を吹き込むだけで本社のパソコンにデータが表示されるシステムで、呼気1リットルあたりのアルコールが0.01ミリグラム単位で検出される。「ドライバーはもともと非常にモラルが高く、真面目な人間が多いものですが、社員の安全意識がさらに高まったと感じていま

す」と通山顕治代表取締役社長は話す。惰性で業務につくのではなく、これから走るぞ、というドライバーたちの気持ちのスイッチの役目も果たしているそう。

これらの環境への取り組み、安全面での意識の向上、さらに社名変更、本社移転など、いま同社が新しい変革にチャレンジすることになったきっかけは、平成16年のISO9001:2000取得だったという。社員が自ら考え、議論するようになり、社内の意識が変わってきたと通山社長は振り返る。「一人ひとりが変わらないと会社は変わらない。常に勉強と新しい発想が必要だと思います」。先代社長から受け継いだ事業基盤と人脈を礎に脱皮を遂げたかのような印象の会社は、新しい本拠地でまた新たな歴史を刻み始めている。



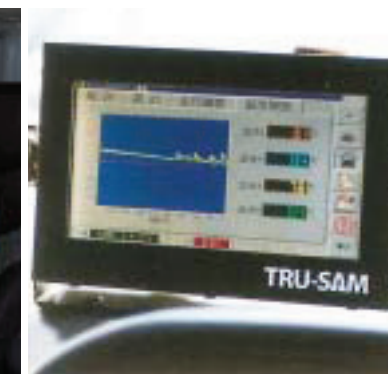
ブルーがシンボルのトラックと鹿児島物流センター



冷凍・チルド庫内。最新の環境型冷蔵設備を採用している



携帯電話を利用したアルコールチェックシステム



ドライブレコーダーで品質とコスト管理を実現



鹿児島支店事務所